授業に関するアンケート（2018 年度秋学期・学部）
実施結果に対する授業評価報告

・授業アンケート結果の数値や「教員コメント」に基づいて、学科等の総括を概ね 4 ページ以内でご記入ください。
・原則として、すべての項目にご記入ください。
・可能な限り、箇条書きでご記入ください。

学科等
看護学科

（1）授業実施に関する質問結果について

1．授業内容はシラバスに合っていましたか。
・シラバスに準じた講義を心がけたことから、学生との大きな認識の差はなかった。 ・卒業研究については、学生個々の状況により、シラバスどおりに講義が進まないこともあるが、秋学期の主な予定や計画を事前に具体的に学生に伝えることも必要である。
2．受講生の理解度を確かめながら授業が進められていましたか。
・今年度は特に学生の理解度を意識しながら学生参加型の授業を進める、授業時間の配分などの工夫、学生に質問をして理解度を確認しながら、講義を進めるなどの工夫がなされていた。
3．授業レベルは自分に合っていましたか。
・95%以上の学生から授業レベルが合っていたという回答を得た科目では、理解度を毎コマ確認しながら進めるなどの工夫がなされていた。 ・受講者 3～4 名の卒業研究での授業評価の解釈は、難しい。
4．教員からの一方向的な授業ではなく、教員と受講生又は受講生同士の双方向性に工夫がされていましたか。
・引き続き双方向の授業にしていくよう工夫していきたい、ゼミ形式では、学生同士のディスカッションも積極的に取り入れたい、学生と相互に創る授業を心掛けたいなどの工夫点が提案されていた。 ・知識の教授を主な目的する講義では、双方向性は難しい点でもあるが、中間でマナビーへの自由記載により学生からの感想や要望を把握するなど工夫がされていた。
5．提出物に対するフィードバック（採点、添削、マナビーでのコメント、チェック後の返却など）は効果的に行われていましたか。
・できる限り早々に赤ペンを入れ提出物のフィードバックを心掛けることにより、学生より効果的にフィードバックが行われていたという評価を得た科目があったことから、早期のフードバックは有効であると思われた。
6．言葉による説明だけではなく、受講生の理解を促進する工夫がなされていましたか。
・提示資料や配布資料において、見やすさ、わかりやすさを意識することにより、高い評価を得た科目があったことから、各教員が意識し、工夫することが重要と思われた。
7．自主学習を促す工夫がなされていましたか。
・単位を修得するにあたり、習得しなければならない知識などを講義の初めに学生に伝えるなど、自己学習を促す工夫を行う。 ・自主学習課題をほぼ毎コマ出すことに加え、学生が考え、楽しく学べる環境づくりを心掛けた科目では、高い評価を得ていたことから、参考になる取り組みであると思われる。 ・一方で、事前学習などをマナビーで提示することも試みたが、マナビーにアクセスした学生は 2 割弱であった科目もあり、主体的な学習姿勢を習得させるのは、難しい。
8．工夫してほしいと思ったことを選んでください（複数選択可、なしも可）。

・PPT と配布資料についての要望に対しては、学生の主体的学習を促しつつも、わかりやすい資料の工夫をする必要がある。

（2）この授業の学修行動に関する質問結果について

9．この授業の予習、復習、自主学習に１週当たり平均どれくらいの時間をかけましたか。 ※学内外を問わず授業に間接的に関係のある学習を含む。ただし、授業時間は除く。
・授業の課題は毎回あったものの、学習時間は少ない傾向の科目では、他の専門科目ほど学生が重要性を感じないのかもしれない。 ・演習科目においては、学科、及び全学平均値より大幅に高い値であった。自主学習を行うような授業の工夫が、勉強時間の増加につながったと考えられる。
10. あなたはこの授業に関して積極的に意見を述べたり質問をしたりしましたか。
・引き続き、積極的に発言したり、質問したりできる雰囲気の授業づくりに努めたい。 ・専門科目で、教授が主となる授業内容では積極的に意見を述べたり質問をすることは難しいと思われる。
11. あなたはこの授業の分野又は関連分野の学習を更に深めたいですか。
・臨床で根拠のある看護や、常に疑問をもちながら看護することの重要性を学生に伝えていきたい。 ・学生は必須科目として受講しているため、本分野の学習を深めたいと回答している学生がほぼ全員であった科目の一方で、必修科目であっても他の項目に比べ評価点がやや低かった科目もあり、動機づけを高められるような工夫や興味関心を引く工夫が必要である。
12. あなたがこの授業を履修した理由は何ですか（複数選択可）。
・すべての科目が必修科目であった。

（3）この授業の到達目標に関する質問結果について

13. 到達目標を達成しやすいように指導がなされていましたか。
・概ね到達目標は達成できたと思われるが、モデルコアカリキュラムにおける到達度も併せて提示するなどの指導も必要と思われる。
14. あなたは到達目標を達成できたと思いますか。
・13.と同様
15. DWCLA10 の内、この授業の履修を通してその獲得や向上に役立ったと感じられるものをすべて選んでください（複数選択可、なしも可）。
・科目を通してつけてほしい力がついたと感じている学生が多かった。今後も科目に応じてつけてほしい力が身につくような授業の方法を工夫したい ・演習を多く取り入れてた科目では、プレゼン力やコミュニケーション力の選択率が高めとなっていた。

（4）その他

・4 年次科目のクラス平均値がほとんどの項目で低かったことは、秋学期の時期に負担感が大きかったようであり、必修科目として授業の方法についての工夫が必要である。 ・教員による授業評価報告の提出者は 7 名であり、教員の意識は課題である。

教育開発支援センター